◎　家庭科部門（小）

１　行事及び内容

（１）研究委員会

①第１回研究委員会　　令和元年７月１２日（金）

・天草教育研究所部会長会及び県評議員会の報道
・令和元年度の事業計画
・全国小学校家庭科教育研究会全国大会（熊本大会）について
・家庭科部門研修会について

②第２回研究委員会　　令和元年９月２日（月）

・講話、実技研修会

③第３回研究委員会　　令和２年２月３日（月）

・研究大会参加の報道、感想
・家庭科部門研修会の成果と課題
・年間反省と来年度への方向づけ

（２）本年度の研修について

○全国小学校家庭科教育研究会全国大会（熊本大会）への参加

令和元年１１月８日(金）熊本市立詫麻原小、春日小、くまもと森都心プラザ
大会主題　「豊かな心と実践力を育み、未来を拓く家庭科教育」
研究主題　「家庭や地域の人々と関わりながら、
生活をよりよくしようと工夫する子どもの育成」

○天草教育研究所家庭科部門研修会

研究テーマ　　「家庭科の授業力向上をめざして」
研修内容　　①講話　「ミシンのトラブル対応や指導方法のポイントについて」
②実技研修　楽しくソーイング（６年）
不要な衣服やはぎれを活用した小物作り
講　　師　　蛇ノ目ミシン工業株式会社　内田植之　氏（他１名）
参加人員　　１０名

２　成果と課題

○家庭科指導で課題が大きいミシンの研修を実施した。ミシンのトラブル対応について、専門家の方に具体的な指導をしていただき大変参考になったと好評だった。研修時期も本年度は各校で授業に入る前に実施できたので、効果的だった。

○後半の実技研修では、各自、直線縫いで不要な衣服やはぎれを使ったバッグや小物入れを製作した。被服専門講師のアドバイスを受けながら、熱心に、楽しみながら製作した経験は、子どもたちの指導にも多いに生かされると思う。時間が少し足りなかったので、来年度はぜひ夏休みに終日研修を計画したい。

○実技研修では作品作りだけでなく、情報交換や親睦も深めることができた。

○本年度は全国大会が熊本で行われ、本研究委員も事前の準備や研修で数回参加した。全国レベルの家庭科教育を学ぶことができ大変有意義であった。